

<男女 600 名に聞いた「歯とハブラシに対する意識調査」結果発表>

“コミュニケーションで重要な顔のパーツ”のトップ3は

- 1位 「笑顔の似合う白くきれいな歯」(67.0%)
- 2位 「力のある目」(52.3%)
- 3位 「さわやかな口元」(49.2%)

“歯が魅力的な有名人”は

- 男性部門 1位 SHINJO(新庄剛志)、2位 ペ・ヨンジュン、3位 明石家さんま
- 女性部門 1位 松嶋菜々子、2位 伊東美咲、藤原紀香、3位 山口智子

サンスター株式会社では、1年間で最もハブラシの買い替えが多い12月に合わせ、首都圏および関西圏の20～50代の男女個人600名を対象に、歯に対する意識とハブラシの使用実態を聞いたアンケートを2004年11月11日(木)～14日(日)に実施しました。

調査結果の概要は以下の通りです。

「歯とハブラシに対する意識調査」結果概要

人とコミュニケーションを図る上でこうありたいと思う顔の部分のトップは「笑顔の似合う白くきれいな歯」(67.0%)、次いで「力のある目」(52.3%)、「さわやかな口元」(49.2%)など。「きれいな歯」に対する願望は非常に強い。

歯が魅力的だと思う有名人の1位は「SHINJO(新庄剛志)」、以下「ペ・ヨンジュン」、「明石家さんま」がトップ3。女性の1位は「松嶋菜々子」、2位「伊東美咲」、「藤原紀香」、3位「山口智子」。

自分の歯や歯グキに対する自己採点は100点満点で52.3点と低い結果に。

また自信を持って他の人に口元や歯を見せられる距離は、家族とは34.6cm、恋人とは37.9cm、同性の友達が53.4cm、知人は63.7cmと関係が浅くなるほど、距離が遠くなる。

ハブラシの交換サイクルは、平均は2.7か月。

自分の歯や歯グキの状態に合わせたハブラシを選んでいる人は4割弱で、状態に合わせて選んでいない人の方が多い。

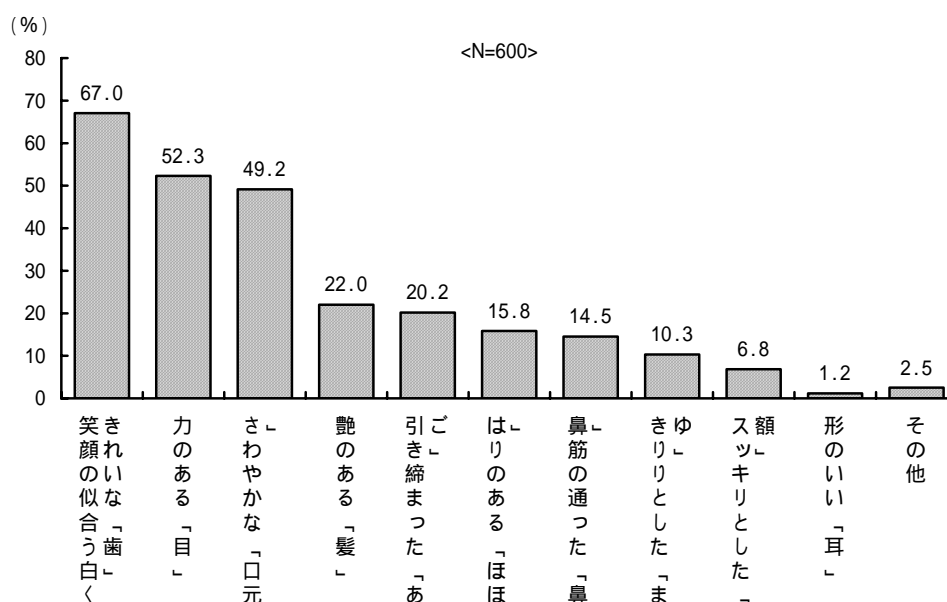
人とコミュニケーションを図る上でこうありたいと思う顔の部分

「笑顔の似合う白くきれいな歯」(67.0%)、「力のある目」(52.3%)、「さわやかな口元」(49.2%)

人とのコミュニケーションを図っていく上でこうありたいと思うのは顔のどの部分か、上位3つまであげてもらいました。最も多いのは「笑顔の似合う白くきれいな歯」(67.0%)で、次いで「力のある目」(52.3%)、「さわやかな口元」(49.2%)の順となっています。以下、「艶のある髪」(22.0%)、「引き締まったあご」(20.2%)、「はりのあるほほ」(15.8%)、「鼻筋の通った鼻」(14.5%)などが続いています。

性別に見ても、男女ともに「歯」(61.0%、73.0%)が最も多く、なかでも<女性>にとりわけ多くなっています。

年代別に見ると、<20代>は「歯」(76.7%)がとりわけ多くなっています。



性別	男性 <n=300>	女性 <n=300>
年代		
20代 <n=150>	76.7	64.7
30代 <n=150>	54.7	64.7
40代 <n=150>	46.0	48.0
50代 <n=150>	19.3	62.0
居地		
首都圏 <n=400>	20.7	65.3
関西圏 <n=200>	20.7	70.5

歯が魅力的だと思う有名人

「SHINJO(新庄剛志)」、「ペ・ヨンジュン」、「明石家さんま」がトップ3。女性は「松嶋菜々子」、「伊東美咲」、「藤原紀香」、「山口智子」

1位は「SHINJO(新庄剛志)」、2位は「ペ・ヨンジュン」、以下「明石家さんま」、「坂口憲二」と、上位は男性が続いています。女性に限って見てみると、1位は「松嶋菜々子」、2位は「伊東美咲」、「藤原紀香」、3位は、「山口智子」となりました。

男性	女性
1位 SHINJO(新庄剛志)	1位 松嶋菜々子
2位 ペ・ヨンジュン	2位 伊東美咲、藤原紀香
3位 明石家さんま	3位 山口智子

歯や歯グキに対する自己採点。

平均は100点満点で52.3点。

自分の歯や歯グキについて、100点満点で自己採点してもらったところ、「50～59点」(20.7%)が最も多く、次いで「60～69点」(19.2%)、「70～79点」(17.3%)の順となっています。「100点」(0.0%)はまったくありません。平均点は52.3点となっています。

性別に見ると、<男性>は53.3点で、<女性>(51.3点)をわずかに上回っています。年代別には<50代>が54.2点で最も高くなっていますが、大きな差ではありません。

また、歯や歯グキの状態と現在使用しているハブラシがあったものかどうかで見ると、<あっている人>は56.1点であるのに対して、<あっていない人>では38.1点にとどまっています。

歯や歯グキの不満点については、最も多いのは「歯の色」(79.1%)でほぼ8割があげています。次いで「食べ物が挟まりやすい」(70.8%)が多く、以下「歯のつや」(70.0%)、「ムシ歯」(65.5%)、「歯石」(64.2%)などが続いています。

性別に見ると、<女性>は「歯石」(70.0%)、「ムシ歯の治療跡」(65.7%)が<男性>(58.3%、51.0%)を大きく上回っているのに対して、<男性>は「歯の欠損」(45.0%)が<女性>(31.7%)を上回っています。

年代別には、<50代>は「歯グキのやせ細り」(55.3%)、「歯の欠損(歯の抜け)」(54.7%)、「歯グキの痛み」(36.7%)が他の年代を上回っているのに対して、「口臭」は<20代>(59.3%)が最も多くなっています。

自信を持って他の人に口元や歯を見せられる距離

家族 とは 34.6cm、 恋人 とは 37.9cm、 同性の友達 が 53.4cm、 知人 は 63.7cm

自信を持って他の人に歯や口元を見せられる距離は、 家族 とは「30～39cm」(26.2%)が最も多く、平均距離は34.6cmです。それに対して 恋人 とは「50～59cm」(19.3%)が最も多くなっていますが、「10～19cm」(18.3%)や「9cm以下」(16.5%)も少なくありません。しかし全般には 家族よりは少し距離をおきたいようで、平均距離は37.9cmとわずかに長くなっています。一方、同性の友達 や 知人 とは「50～59cm」(29.5%、30.0%)が中心で、なかでも 知人 とは「100～149cm」(23.2%)も多くなっています。平均距離も53.4cm、63.7cmと比較的長めです。

	サンプル数	9cm以下	10～19cm	20～29cm	30～39cm	40～49cm	50～59cm	60～69cm	70～79cm	80～89cm	90～99cm	100～149cm以上	平均(cm)
a) 家族とは	600	12.8	18.7	7.5	26.2	1.0	21.8	2.2	9.3	0.3	0.2	34.6	
b) 恋人とは	600	16.5	18.3	8.7	17.7	1.7	19.3	4.5	11.3	1.0	1.0	37.9	
c) 同性の友達とは	600	2.2	6.8	8.3	21.0	2.8	29.5	9.3	17.5	1.7	0.8	53.4	
d) 知人とは	600	1.8	5.2	5.0	17.8	2.0	30.0	10.3	23.2	2.0	2.7	63.7	

ハブラシについて

普段使っているものは、「普通のハブラシ」(85.8%)が圧倒的。一方、「電動歯ブラシ」(18.7%)、「フロス(糸ハブラシ、糸ようじ)」(16.5%)、「歯間ブラシ」(16.2%)もそれぞれ2割弱(複数回答)交換サイクルは、「1か月くらい」(37.7%)が最も多く、次いで「2か月くらい」(22.5%)、「3か月くらい」(22.3%)の順。平均は2.7か月

自分の歯や歯グキの状態に合わせたハブラシを選んでいる人は4割弱、合わせて選んでいない人の方が多い

自分のハブラシの購入、夫は主婦任せ(82.7%)

普段使っているハブラシは、圧倒的に「普通のハブラシ」(85.8%)が多くなっていますが、「電動歯ブラシ」(18.7%)、「フロス(糸歯ブラシ、糸ようじ)」(16.5%)、「歯間ブラシ」(16.2%)もそれぞれ2割弱と少なくありません。また、「超音波ハブラシ」(5.0%)も多くはありませんがあげられています。

性別に見ると、<女性>は「フロス(糸歯ブラシ、糸ようじ)」「歯間ブラシ」の利用が<男性>を上回っています。

年代別に見ると、「電動歯ブラシ」の利用者は年齢が高い人ほど多くなっています。

歯・歯グキへの注意度別に見ると、<注意を払っている人>は「電動歯ブラシ」「歯間ブラシ」「フロス（糸歯ブラシ、糸ようじ）」の利用が<注意を払っていない人>を上回っています。

どれくらいの間隔でハブラシを交換しているのかを見てみると、「1か月くらい」（37.7%）が最も多く、次いで「2か月くらい」（22.5%）、「3か月くらい」（22.3%）となっており、あわせると“3か月以内”（82.5%）が8割を超えています。その一方で「6か月くらい」（12.4%）も1割強を示しています。平均は2.7か月です。

性別に見ると、<女性>は平均2.3か月で交換しているのに対して、<男性>は3.1か月となっています。

年代別に見ると、<50代>は平均月数2.3か月、<40代>は2.6か月、<30代>は2.4か月であるのに対して、<20代>は3.4か月と長くなっています。

歯・歯グキへの注意度別では、<注意を払っている人>は平均月数が2.3か月ですが、<注意を払っていない人>では3.6か月となっています。

自分の歯や歯グキの状態にあわせて選んでいるかどうかについては、「強く意識してあわせて選んでいる」はわずか5.2%にとどまり、「まああわせて選んでいる」（34.0%）をあわせても“あわせて選んでいる”（39.2%）は4割弱にすぎません。一方、「まったくあわせて選んでいない」（13.0%）と「あまりあわせて選んでいない」（39.3%）をあわせて“あわせて選んでいない”（52.3%）は半数を超えています。さらに、「歯や歯グキの状態にあわせて品揃えされていることを知らなかった」（8.5%）も1割近くを示しています。

家族のハブラシは、誰が購入しているのかについては、妻用は大多数が「自分自身」（99.1%）ですが、夫用、男の子供用、女の子供用は、いずれも「主婦（妻・母）」（82.7%、91.1%、81.5%）が圧倒的に多くなっています。また姑・舅用は、「自分自身」（56.4%）が「主婦（嫁）」（41.0%）をやや上回っています。

<サンスターの見解>

コミュニケーション上で、こうありたいと思う顔の部分のトップが「笑顔の似合う白くきれいな歯」(67.0%)である、と考えているにも関わらず、自分の歯や歯グキについての自己採点は、52.3点と低く、自分の歯への不満が高い様子が伺えます。

また、自信を持って他の人に口元や歯を見せられる距離も、家族とは34.6cm、恋人とは37.9cm、同性の友達が53.4cm、知人は63.7cmと、関係が浅いほど距離が遠くなり、自分の歯への自信の無さが現れているのでは、と考えられます。

歯の魅力的な有名人で1位になった「SHINJO(新庄剛志)」は、実はコミュニケーションの達人と言えるのではないのでしょうか。

またハブラシの交換サイクルに最適な期間の目安は、1か月ですが、1か月くらいで交換している人は37.7%と低い数字です。

お口の中の状況は、一人ひとり違い、時間の経過とともに変化します。ハブラシを選ぶ時も、口の状態に適した、自分で使いやすいものを選びたいものです。そのためには、歯科医や歯科衛生士などの専門家による指導を受ける必要があります。気軽に相談できる「かかりつけ歯医者さん」を見つけ、半年に一度は定期健診を受けることを生活習慣のひとつに取り入れることをおすすめします。

<ホームページでみつけようMYハブラシ>

また、サンスターでは「みつけようMYハブラシ」をテーマに、「あなたにぴったりのハブラシが探せる」診断チャートをメインに、オーラルケアに関する情報を満載したサイト(<http://haburashi.com/>)を2004年12月1日～2005年1月31日までの期間立ち上げ、ハブラシ選びを通してお口の健康に興味を喚起するコミュニケーションも実施します。

年間でもっともハブラシの買い替えが多いこの時期に、今一度、歯と歯磨きについて考えてもらえたら幸いです。

<調査企画概要>

1. 調査対象及びサンプル数: 首都圏・関西圏に居住する20～59歳の男性・女性、600人
2. 調査方法: Web調査
3. 調査実施時期: 平成16年11月11日～11月15日
4. 調査項目:
 - ・自分の歯や歯グキに対する不満と自己採点
 - ・自分の歯や歯グキに対する注意度と注意点
 - ・自信を持って他人に口元や歯を見せられる距離
 - ・人とコミュニケーションを図る上で大事だと思う顔の部分
 - ・歯磨きについて(回数、場面、時間、磨く目的)
 - ・ハブラシについて(使っているもの、交換頻度や時期、購入者、選定ポイント、金額)
 - ・歯や歯グキの状態にあわせたハブラシ選びの実践度
 - ・歯や歯グキの状態にあわせた「Myハブラシ」の所有意向
 - ・歯が魅力的な有名人

【本件に関するお問合せ先】

サンスター株式会社 広報室

本社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1

TEL072-682-6212 FAX072-682-7917

東京 〒105-0014 東京都港区芝3-8-2-21F

TEL03-5441-1424 FAX03-5441-8778